

長期休業のあり方児童、生徒アンケート集計結果

【調査概要について】

1. 調査目的

川西市内の小中学校、特別支援学校では、平成 30 年度から現在まで、外国語など新たに実施される教育課程に対応するため、夏休みの 3 日間短縮を試行実施し、授業時数を確保してきました。

その後、令和 5 年 4 月に文科省より標準授業時数を大きく上回って教育課程を編成・実施している学校が一定数あることを踏まえ、子どもの負担軽減のため、各学校の指導体制に見合った授業時数を設定する必要があるとの通知が出されました。

そこで、川西市教育大綱に掲げている「すべての子どもの充実した学び、育ちを」という基本方針に基づいて、長期休業の側面から児童、生徒にとって過ごしやすい環境を整えるため長期休業の検討を行っているところです。改めて授業時数を整理するとともに、来年度からは短縮されていた夏休みの 3 日間を元に戻すことを検討し、さらに、元に戻す 3 日間は、夏休みに戻すのではなく、春休みや冬休みなどに振り分けることで子どもたちの充実した学びや育ちにつながると考え、児童生徒の意見を把握することを目的とします。

2. 調査期間 令和 6 年 7 月

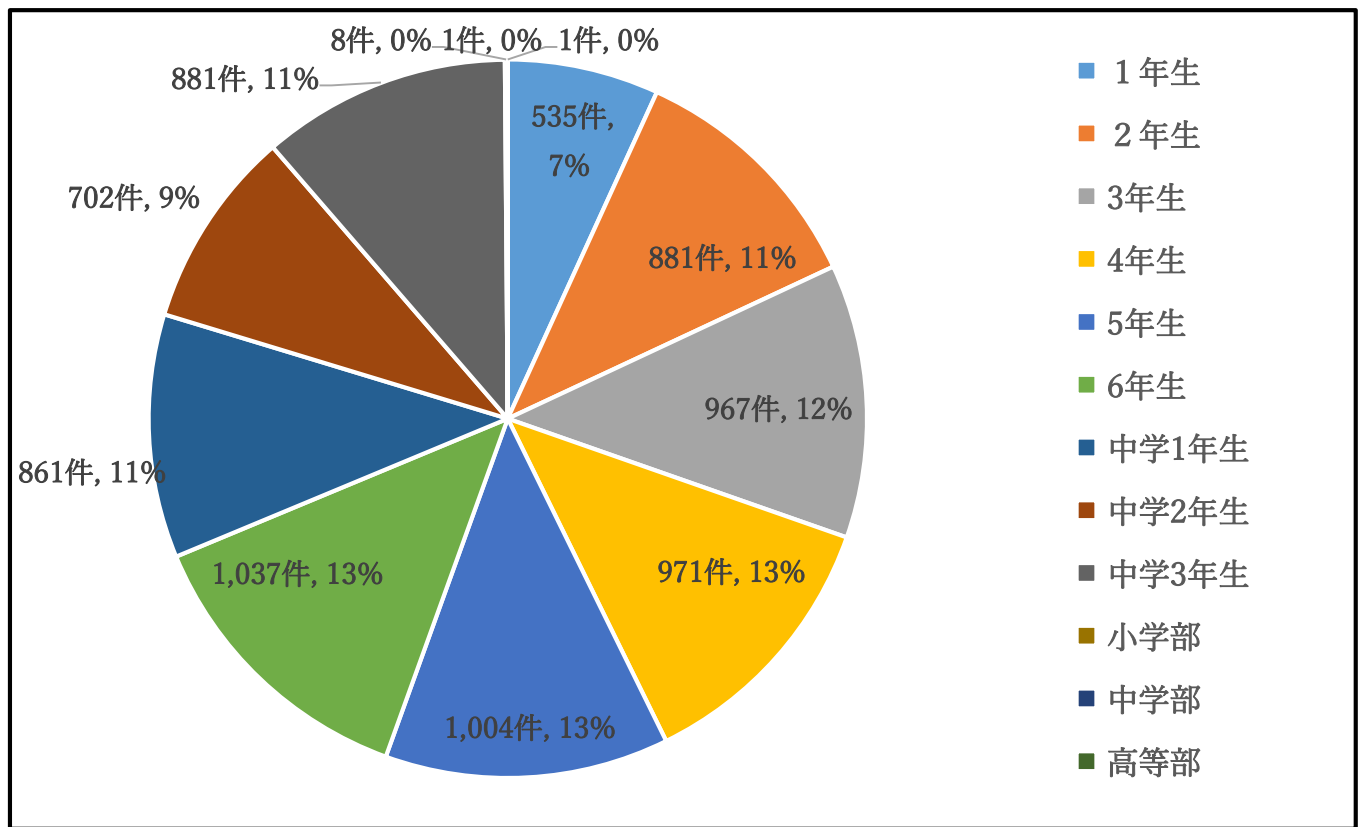
3. 調査対象 市内小中および特別支援学校児童生徒対象

4. 調査方法 電子申請システム（Logo フォーム）による回答、または紙面による回答

5. 回答状況 回答数 7,829 件

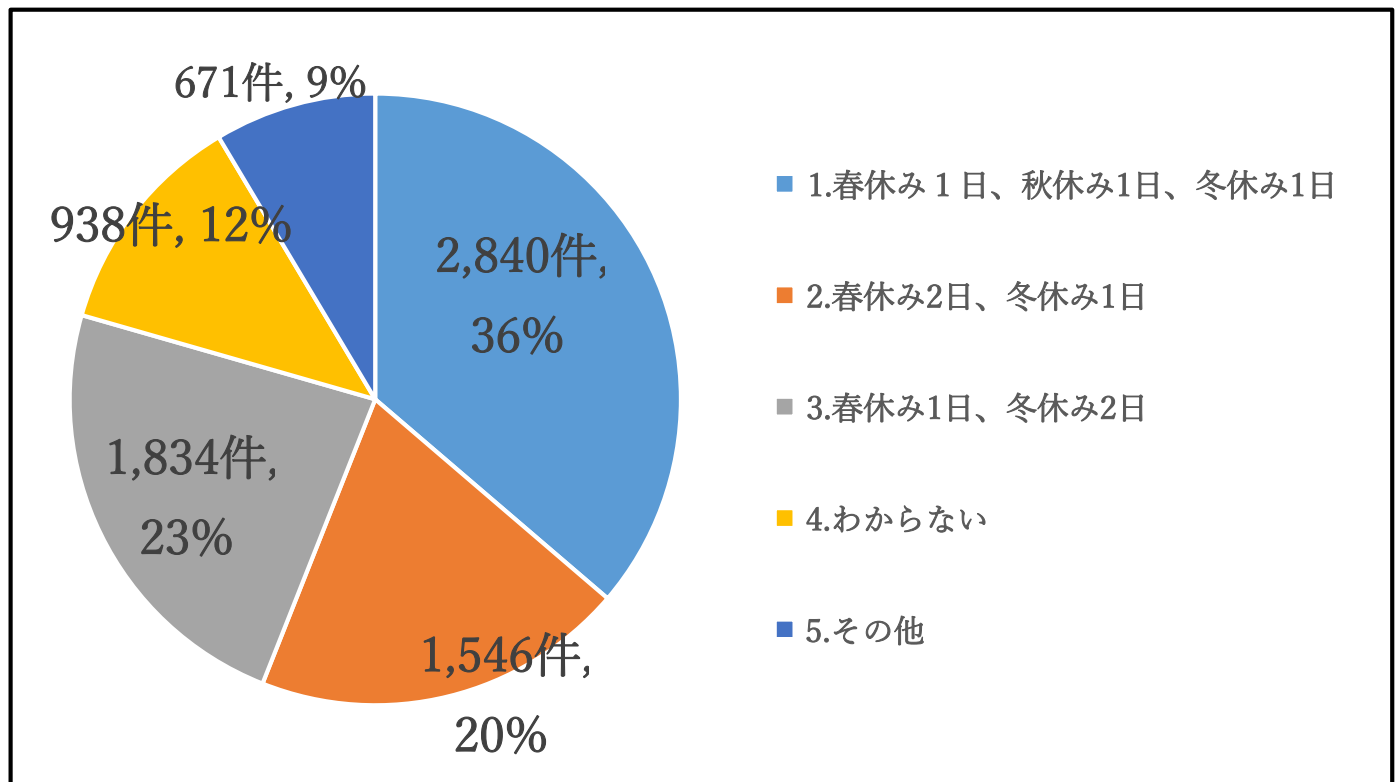
(1) 回答者の属性

問 1.あなたの学年または学部を教えてください。



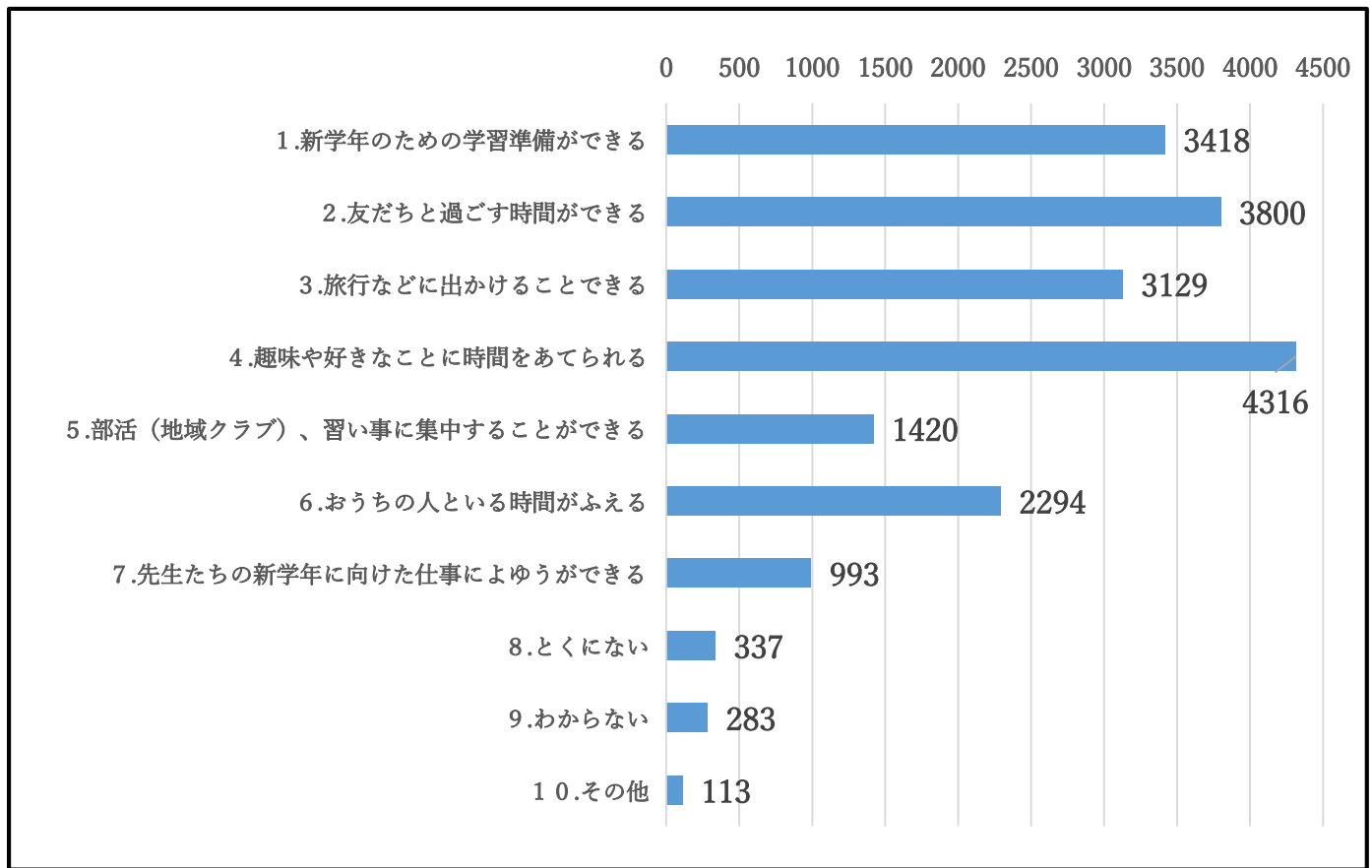
(2) 3日間の振り分け方

問 2.休みを3日間増やす場合、その増やし方としてあなたの考えに近いものを一つ選んでください。

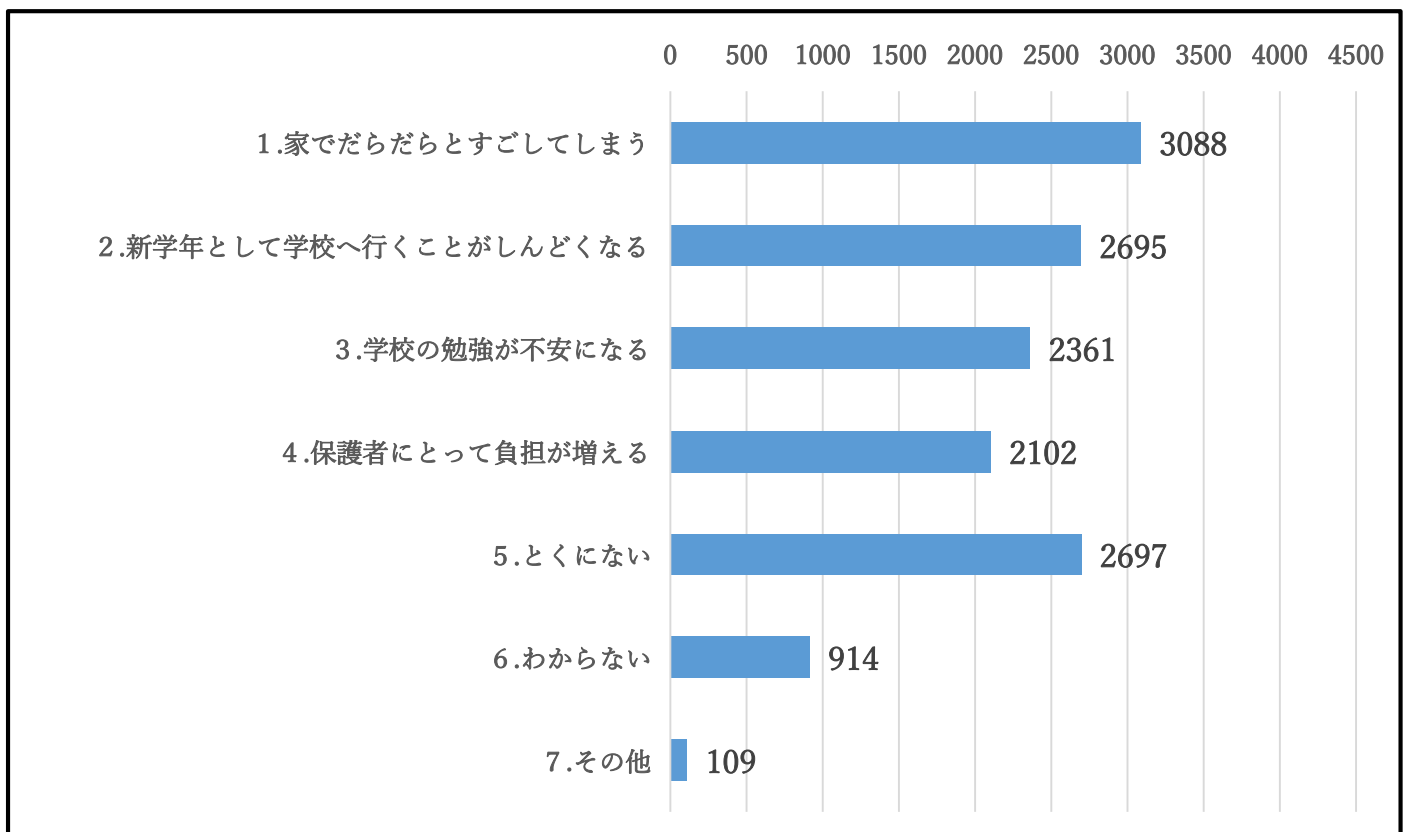


(3) 春休みにおけるメリット、デメリット

問3.春休みを増やすことにおいて特にメリットになるものを選んでください。(3つまで選択可)

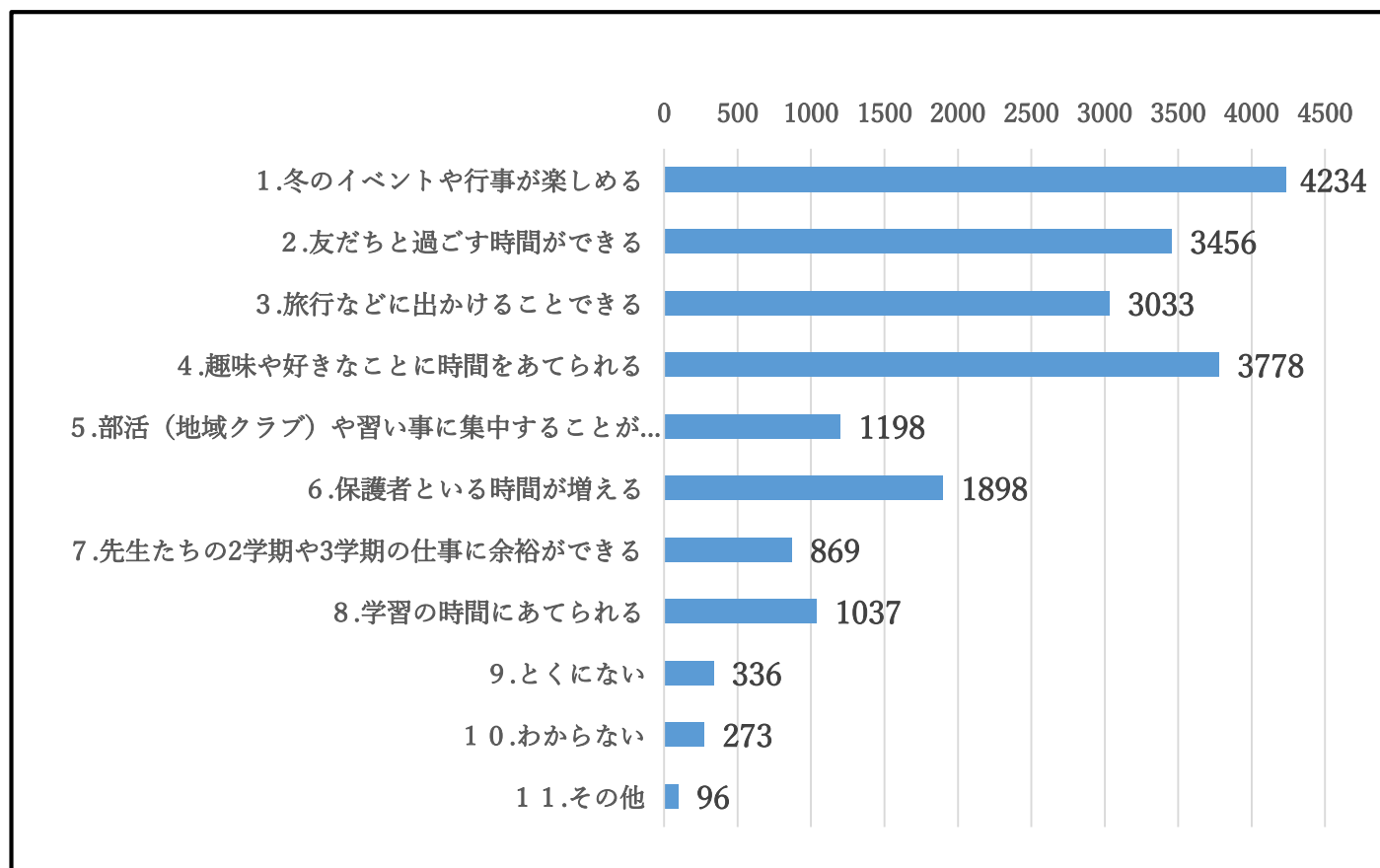


問4.春休みを増やすことにおいて特にデメリットになるものを選んでください。(3つまで選択可)

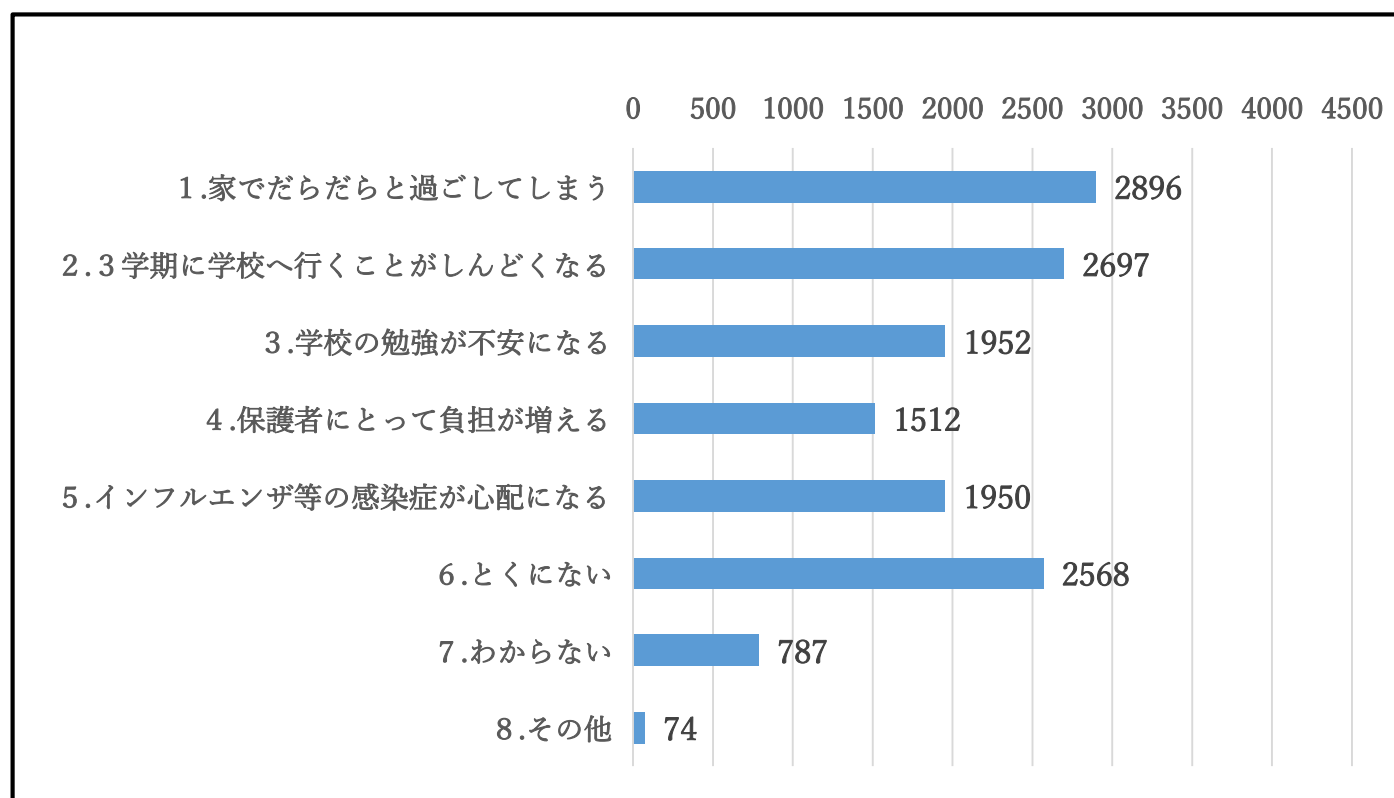


(4) 冬休みにおけるメリット、デメリット

問5.冬休みを増やすことにおいて特にメリットになるものを選んでください。(3つまで選択可)

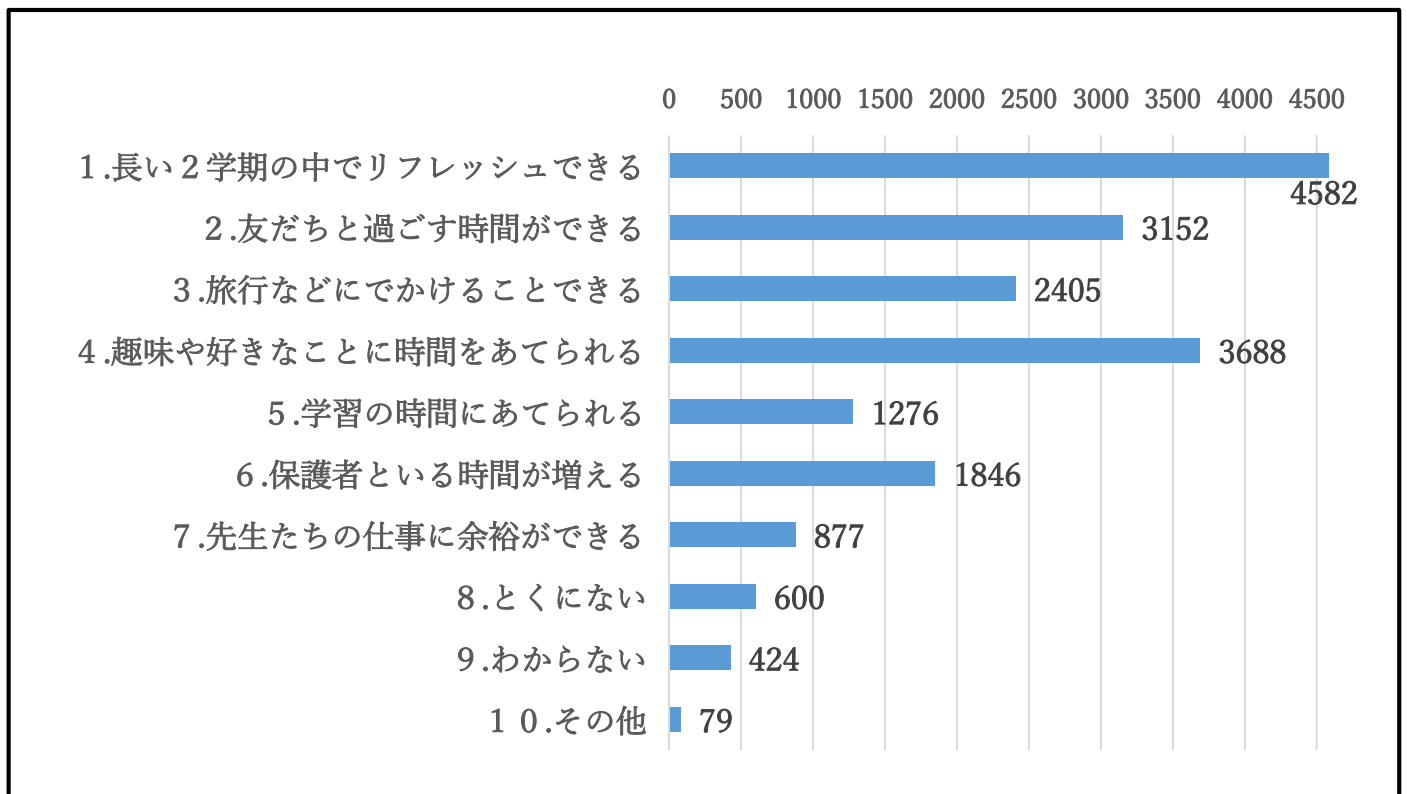


問6.冬休みを増やすことにおいて特にデメリットになるものを選んでください。(3つまで選択可)



(5) 秋休みにおけるメリット、デメリット

問7.秋休みを増やすことにおいて特にメリットになるものを選んでください。(3つまで選択可)



問8.秋休みを増やすことにおいて特にデメリットになるものを選んでください。(3つまで選択可)

